

■ 計画概要

建物名称 : 川崎幸病院
計 画 地 : 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27
主要用途 : 病院(265床)
※ 将来350床規模迄の増床が可能な設計
建 築 主 : 社会医療法人財団 石心会
設計監理 : 株式会社山下設計
施 工 : 〈分離発注〉
鹿島建設株式会社(建設工事)
東光電気工事株式会社(電気工事)
株式会社大気社(空調・給排水衛生工事)
敷地面積 : 3,682.33㎡
建築面積 : 2,270.17㎡
延床面積 : 21,267.69㎡
階 数 : 地上11階・塔屋1階
最高高さ : 54.18m
構 造 : 鉄筋コンクリート造(免震構造)
着 工 : 平成21年11月
竣工予定 : 平成23年12月
開院予定 : 平成24年4月

■ 計画経緯

川崎幸病院(社会医療法人財団石心会)は、川崎市幸区都町に1973年(昭和48年)に開院して以来、長年にわたり地域医療に尽力してまいりました。この三十数年の間に、健診等幾つかの部門を別事業所として独立、1998年(平成10年)には一般外来を「川崎幸クリニック」として分離し、それぞれの医療/福祉事業に特化してきました。これにより現在の川崎幸病院の機能は、地域医療の要である救急医療とそれを支える高度医療に特化した急性期病院です。また、これを実践する為に石心会グループのみならず、開放型病院として地域開業医の先生がた等と密に連携をとり、地域完結型の医療を推進しています。

この度、現病院の老朽化に伴い、また種々の最新医療機器の導入等による狭隘化から、同じ幸区内で、より広い延べ床面積を確保できる場所への移転新築を模索しておりましたが、川崎市が進める「川崎駅西口大宮町地区開発計画」において(通称)F街区の土地所有者である川崎市住宅供給公社様より共同事業者に選定されました。数年にわたり、検討を重ねて参りましたが、計画全容の目処が立ちましたので、この度F街区の一部を購入、着工となりました。

計画地である大宮町は川崎駅からも近く、なおかつ、現病院のある都町からもほど近いことから、

患者さんにとっても便利場所です。新病院は24時間態勢での救急医療を入りに、各専門センター等にて地域で一番の高度医療を提供する事を目指します。

新病院は、より効率的な医療を提供する視点から、川崎幸病院（203床）と川崎幸病院中原分院（62床）の医療機能を集約し許可病床合計**265**床にて運用を開始します。（将来350床規模迄の増床が可能な設計となっています）なお、開院は平成24年を予定しております。

■ 設計コンセプト

設計ポイントの大きなものは以下のとおりです。

- ① 地域の病床不足に対応する病床数（将来350床規模迄の増床が可能な設計）
- ② 救急車を断らない病院
- ③ 特に、4つのセンターに関しては、地域で最高の医療水準を実現する病院
- ④ 地域の災害医療の中心となる病院

- ・ 外 来 : 救急、紹介、透析
- ・ 入 院 : 265床（将来350床規模迄の増床が可能な設計）
- ・ 主な設備 : ER（ホールディング15床）
ICU8床+重症病床（ACU/SCU/CCU/HCU）
手術室7室、血管内治療3室、放射線治療室、化学療法室
血管造影撮影室3室、内視鏡室4室、外来透析35床、入院透析15床
駐車場約80台、他